みどりの東北

Midori no Tohoku

No.249

令和6年 2024.12

林野庁 東北森林管理局

Tohoku National Forest Regional Office



樹齢250年以上の天然秋田杉の巨木約700本が群立する森の中で、ひときわ神秘的な姿を見せている「コブ杉」は、林野庁の「森の巨人たち百選」にも選ばれています。天然秋田杉に付いた巨大なコブの大きさは、幅約220cm高さ約200cmもあります。

上大内沢（かみおおないざわ）自然観察教育林のコブ杉（秋田県上小阿仁村）
［米代東部森林管理署上小阿仁支署］

CONTENTS

地域発NEWS …… 1～4

国有林野所在市町村の魅力紹介 …… 5～6

特集コーナー …… 7

使える！ 行政情報＆研究・技術の参考情報 …… 8

地域のこの人 …… 9

東北森林管理局の管内で予定されているイベント情報 …… 10

地域発NEWS

東北森林管理局が管轄する森林管理（支）署やセンターで実施している仕事について紹介しています。各地域の森林や林業に関する情報も満載です。

森林、林業を未来へつなぐための森林教室

秋田

米代東部森林管理署

当署では、地域の子供たちに森林や林業をもっと身近に感じてもらうための森林教室を開催しています。

９月24日には、中滝ふるさと学舎において大湯小学校５年生を対象とした野外学習を行いました。

始めに林業とはどのような仕事か学んでもらった後、班に分かれてシラカンバやドイツトウヒ等の樹高と胸高直径を測ってもらいました。測竿、ブルーメライス、バーテックス、輪尺といった初めて使う道具に、子供たちは悪戦苦闘しながらも「私も使ってみたい！」「先端見える？」とにぎやかに測樹していました。自分たちの測った木の高さが正解とぴったりだった木もあり、友達と一緒に盛り上がっていました。



熱心に林業の話を聞く子供たち

この学習を通じて、森林の大切さを実感しながら、林業の仕事の役割を学んでもらい、未来までその気持ちを忘れないでほしいと思います。



木の大きさを測ってみよう！

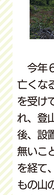
今後も子供たちに興味を持ってもらえるような森林教室に取り組んでいきます。

♪ルールを守って「八甲田山」散策を♪

青森

青森森林管理署

当署管内の八甲田山は、青森市の南側にそびえる大岳（標高1,585m）を主峰とする18の山々からなる複数火山の総称で、日本百名山の一つにもなっています。八甲田山の北側は、八甲田山自然観察教育林に設定され、夏の新緑、秋の紅葉を楽しみに毎年多くの登山客が訪れています。また冬は樹氷群やブナ林を縫って滑走できるスキーコースとして、八甲田野外スポーツ地域にもなっています。



八甲田山

今年６月に八甲田山中で、クマに襲われた方が亡くなるという悲しい事故が発生しました。これを受けて青森市ほか関係者による対策会議が開かれ、登山・入林禁止の措置が取られました。その後、設置したワナでクマが捕獲され、目撃情報も無いことから施設管理者による登山道の安全確認を経て、９月末に登山道開鎖が解除となり、いつもの山の賑わいを取り戻しました。

なお、八甲田地域の国有林一帯は、国立公園特別保護地区でもあり、これまでも登山道以外の入林は自粛をお願いしており、自生する山菜などの植物の採取は禁止となっています。

八甲田山を訪れる際は、各自クマ対策のうえルールを守って散策を楽しんでいただき、酸ヶ湯温泉で疲れを癒してお帰りいただきたいと思います。

くらしを守る海岸防災林の管理

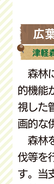
宮城

宮城北部森林管理署

平成23年３月11日の東日本大震災で気仙沼地域では、湾の奥まで遡上した津波により押し波と引き波の両方が発生し、波の勢いにより ほとんどの防潮護岸は倒壊、流失したほか、沈下や傾倒などの被害を受けました。また、海岸防災林は幹折れなどの被害を受けほとんどが流失しました。

そのため、新たな防潮堤の設置を早急に行い、この地域の安全を守る必要がありました。当署では、宮城県から要望のあった民有林と国有林をあわせて８箇所、延長3.9kmの防潮堤を地域住民や地権者と合意形成が図られた海岸から順次着手し、防潮堤背後の海岸防災林1.17haの造成（クロマツの植栽）も含めて、令和２年度内にすべて完成することができました。工事完成後は防潮堤の点検・管理などを実施しています。

今後は、防潮堤背後の海岸防災林（潮害防備保安林）が、津波や高潮の勢いを弱め、住宅などへの被害を防ぎ、海岸からの塩分を含んだ風を弱め塩害を防ぐ等、保安林としての機能を発揮できるように、保育事業（下刈・つる切・除伐・本数調整伐※）を継続し、防潮堤を含めた海岸防災林全体で地域を守れるよう取り組んでいきます。



野々下・沖ノ田海岸の防潮堤

※海岸防災林を整備するにあたり、気象災害や津波への耐性、波力減衰機能を最も発揮するため密度とするため、生育状況に応じてクロマツを伐採し、密度管理を行う本数調整伐を実施している。

広葉樹の有利販売の推進

青森

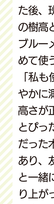
津軽森林管理署金木支署

森林には国土の保全、地球温暖化防止等の公益的機能があり、国有林野ではその機能の発揮を重視した管理経営を進めつつ、木材の持続的かつ計画的な供給に努めています。

森林を健全な状態に保つためには、定期的に間伐等を行うなど森林を整備していくことが重要です。当支署では間伐した丸太を販売しており、人工林ではスギ、天然林ではヒバを主に出材しています。その際、少量ではありますが、ミズナラなどの広葉樹も出材します。

出材する広葉樹の優良材は、有利販売のため採材方法や適切な仕分けの徹底など採材時の注意点を林業事業体に指示し、作業してもらいます。仕分けについては、販売委託先の協力を得てよりニーズに合った仕分けをして販売しています。

令和６年２月28日に津軽木材流通センター主催の木材市に当支署から生産された広葉樹一般材の丸太（ミズナラ、ホオノキ、クリ、ブナ、サクラなど）193本、約37㎥を出品しました。その中の最高値はミズナラの一般材で約13万円/㎥（平均単価約9.3万円/㎥）と高く評価されました。



出品したミズナラ

今後も地域の優れた森林資源を有効活用するため、多様な木材を供給し、木材市場の活性化に向けた取組を進めていきます。

地域発NEWS

東北森林管理局が管轄する森林管理署（支）署やセンターで実施している仕事について紹介しています。各地域の森林や林業に関する情報も満載です。

漁師が植えて育てる下北の森林

青森

下北森林管理署

下北地域ではホタテやナマコ、アワビ、ウニ、カレイ、アイナメ、トゲクリガニ等の漁獲量が多く、水産業が主要産業となっています。魚介類が豊富に採れる理由は、森林の土壌に貯まった栄養分川を通って海に流れ込み、海の生物が育てられるからだと考えられています。

この地域では水産資源を持続的に利用するための自然保護活動として、植樹祭が毎年実施されており、森林を人の手で守り育てています。

今年も川内漁業協同組合の主催で「2024漁師の森植樹祭」が10月３日に開催されました。当日は雨が降り出しそうな天気で小学生の参加は取りやめとなりましたが、むつ市長や地元の漁師、下北地方森林組合等の関係団体から多数が参加しました。当署の森林官が苗木の植樹方法を説明した後、ブナやミズナラの苗木600本が植樹されました。また、植えた苗木の生育を助けるために、地元で養殖されたホタテの貝殻を材料にした堆肥がまかれ、“森林を育てる”取組を実施しました。

当署ではこれからも、地域を主体として行われる森林保全の取組に協力していきたいと考えています。



漁師の森植樹祭参加者の皆様

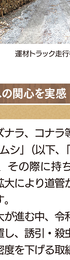
土木シートを用いた林道補修

岩手

三陸北部森林管理署

当署管内の国有林では、間伐等の森林整備事業実施により年間４万㎥を超える素材（丸太）が生産され、林道を経由して市場へ運ばれていますが、これまでは運材トラックの走行により傷んだ路面の補修を頻繁に行う必要がありました。

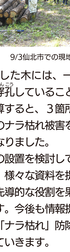
そのため、当署では令和５年度より東北森林管理局において考案された「東北式シート工法」を採用して林道補修を行っています。この工法は、林道の路面を深さ10cmほど箱型に掘り、ポリエステル繊維素材の土木シートを敷いた上に砕石を敷き詰め、軽く転圧するだけで簡単に施工でき、轍の発生を抑えるなどの効果が期待できます。


施工状況

令和６年度は管内林道２路線、約300ｍで施工しました。施工箇所では、直後から目に見えて効果が分かるほど路面状況が改善され、その効果が長く続くことを確認しています。

砕石のみを使用した通常の維持修繕に比べれば施工時に手間がかかり、一時的に費用はかかりますが、結果として維持修繕経費の大幅な削減に繋がると期待しています。

林道は効率的な森林の整備や地域産業の振興を図るために必要不可欠であり、安全な通行を確保するため、今後も適切な維持管理に努めていきます。


運材トラック走行後の状況

「ナラ枯れ」対策への関心を喜感

秋田

秋田森林管理署

「ナラ枯れ」は、ミズナラ、コナラ等のナラ類が、「カシノナガキクイムシ」（以下、「カシナガ」と言う。）に侵入され、その際に持ち込まれる「ナラ菌」への感染と拡大により道管が機能不全となり枯死する病気です。

当署管内でも被害拡大が進む中、令和４年度から「おとり丸太」を設置し、誘引・殺虫し被害地で「カシナガ」の生息密度を下げる取組を実施しています。また「守るべきナラ林」では薬剤の樹幹注入にも取り組んでいます。

今年度は、おとり丸太を大仙市２箇所、仙北市１箇所に設置し、「現地調査会」をそれぞれの箇所で９月３日と４日に開催しました。自治体、林業関係事業体等から47名が参加し、「ナラ枯れ」防除の知識を深めるとともに、関係市町からは、「民有林においても被害が拡大している」等の報告を含め、活発な意見交換が行われました。


9/3仙北市での現地調査会

ナラ枯れにより枯死した木には、一本当たり1,000匹のカシナガが潜んでいることから、誘引数調査の結果から逆算すると、３箇所の「おとり丸太」で約1,200本のナラ枯れ被害を防いだことが想定される結果となりました。

先般は、おとり丸太の設置を検討している自治体からの問合せに応じ、様々な資料を提供するなど、国の機関として、先導的な役割を果たしていることを実感しています。今後も情報提供はもとより、地域と連携した「ナラ枯れ」防除へと結び付くよう、取組を進めていきます。

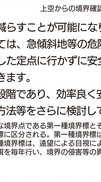
ドローンを活用した境界巡視業務の試み

岩手

盛岡森林管理署

当署の国有林野の境界は延長約1,022km、境界点数は約33,000点に及び、このうち第二種区分境界は、延長約952km、境界点数は約31,000点であり、遠望による目視により毎年定点から確認を行う境界巡視を行っています。※

境界巡視は、境界を遠望できる地点まで車や徒歩で移動する等、多大な労力がかかっており、当署においては、ドローンを活用して効率化できるかを試みています。ドローンを活用することで、短時間で広範囲に及ぶ境界の状況を確認することができ、定点に赴く回数を減らすことが可能になります。また、定点によっては、急傾斜地等の危険を伴う箇所もあり、こうした定点に行かずに安全に確認することが期待できます。



地上からの境界確認

上空からの境界確認

本取組は試行段階であり、効率良く安全に作業できるよう活用方法等をさらに検討していきます。

※境界標は、特に重要な境界点である第一種境界標とそれ以外の境界標である第二種境界標に区分されます。第一種境界標は、現地確認を行う境界巡視、第二種境界標は、遠望による目視により同一定点から確認を行う境界巡視を毎年行い、境界の侵害等の異常がないか確認をしている。

国有林野所在市町村の魅力紹介

国有林野の所在している市町村は、自然豊かで、おいしい食べ物や名産品も多くあります。その魅力をふんだんに紹介しています。

宮城

宮城県宮城郡七ヶ浜町

仙台森林管理署

七ヶ浜町は、仙台市中心部から東に約20㎞にあり、三方を太平洋と松島湾に囲まれた半島状の町です。日本三景松島の一角をなし、海岸線は特別名勝「松島」、町内の東部は県立自然公園であり、菖蒲田海水浴場をはじめ、松島四大観の一つ「偉観・多聞山」等、仙台近郊でありながら街の喧騒を離れ、身近に海に親しむことができる癒しのスポットでもあります。



七ヶ浜といえば夏！菖蒲田海水浴場

ウニ、アワビ…七ヶ浜町の四季を通じて新鮮な海の幸を堪能できることも七ヶ浜町の魅力の一つです。中でも特産の海苔は、焼き海苔は香ばしさ、乾海苔はさっと炙れば香り立ち、口の中で豊饒な海が広がります。最高級の乾海苔は、皇室に献上される逸品です。



皇室にも献上される七ヶ浜特産の海苔

明治の頃に、山の軽井沢、湖の野尻湖とともに、日本の三大外国人避暑地と称された七ヶ浜の海の高山（高山外国人避暑地）は、今も異国情緒を残しながら現代に息づいています。高山から着想された七ヶ浜国際村は、国際色豊かなユニークな企画で30年間にわたって時代を駆け抜け、国際交流と文化芸術の発信を担ってきました。



国際交流と文化芸術を発信する七ヶ浜国際村

近年、七ケ浜町では、新たにスポーツダーツによるまちづくりにも取り組み始めました。かつて夜のイメージだったダーツは今、年齢を問わず、だれでも気軽に、明るく、楽しく遊べる真っ昼間のゲームとなりました。ダーツは脳トレなど心身の健康だけでなく、今や地域でのコミュニケーションツール。地区対抗ダーツ大会をはじめ、子ども会や老人クラブ行事、今年６月には、町内の汐見小学校でダーツクラブが発足するなど、いま、ダーツによる熱い戦いが始まっています。



介護予防教室でもダーツ

より詳しい市町村の魅力はこちらから→

お問合せ先
七ヶ浜町まちづくり振興課　Tel.022-357-7443

国有林野所在市町村の魅力紹介

国有林野の所在している市町村は、自然豊かで、おいしい食べ物や名産品も多くあります。その魅力をふんだんに紹介しています。

山形

山形県長井市

置賜森林管理署

長井市は、山形県南部に位置し、東に出羽丘陵を眺め、西に朝日連峰の南端にあたる葉山連山に囲まれた盆地地帯です。四季折々に美しい姿を見せる山々から湧き出る伏流水は、田畑を潤し豊かな暮らしを育んできました。まちのすぐそばに雄大で美しい自然があり、市民に安らぎを与えています。

「長井」の地名の由来は水の集まるところ。その名が示すように朝日山系を源とする野川、飯豊山系を源とする白川、市の南北を貫流する最上川の３つの河川がまちを囲むように流れています。野川の上流には長井ダムがあり、そのダム湖は「ながい百秋湖」と呼ばれ、周辺の美しい景色が魅力の観光地となっています。水陸両用バスでの遊覧や水上自転車など、ダムを拠点として様々な楽しみ方もできます。上流までボートで上ると辿り着く三淵渓谷は、断崖絶壁の景勝地。卵の花姫伝説の残る秘境で水面の美しさが訪れる人の目を奪います。



ながい百秋湖と水陸両用バス



断崖絶壁の景勝地三淵渓谷

緑豊かな森林資源を生かした玩具作りが発端となり、現在は競技用けん玉の生産量が日本一となっています。原木の加工から球の塗装、穴の加工まで、職人たちの高度で洗練された技が、見事な競技用けん玉を作り出しています。令和２年９月にはけん玉が長井市の市技に認定されました。けん玉によるまちづくり活動をさらに推進し、世界との交流や市民の健康づくりを促し、けん玉文化の継承・発展を目指しています。



競技用けん玉の生産日本一

長井市は桜やつつじ、あやめ、はぎ、梅花藻など、四季折々に花々が咲き誇る郷になっています。「花の長井」を象徴し、市章にもなっているあやめは、６月から７月にかけて咲き、長井に初夏の訪れを告げます。古くから長井の人々に愛されてきたあやめ公園には、3.3haの園内に数百種の花菖蒲が咲き誇ります。自然を身近に感じ、四季を様々に楽しめる、水と緑と花のまち「長井」に是非お越しください。



初夏の訪れを告げるあやめ公園

より詳しい市町村の魅力はこちらから→

お問合せ先
観光文化交流課　Tel.0238-82-8017

特集コーナー

国有林野で今起こっている最新情報をお伝えしています。

広葉樹の有効利用に向けた取組

資源活用課

東北森林管理局では、管内各地域の優れた国産材資源を有効に活用した木材の供給を実施しています。特に広葉樹は、民有林（国有林以外）から供給されることが期待しにくいため、国有林が積極的な供給に努めるとともに、販路開拓などを含めた有効利用を推進しています。

国有林野事業の一つである生産請負事業により出材された広葉樹を、市場等が求めている長さに採材（使用目的に合わせた長さの丸太に切ること）するため、各森林管理署、支署では、市場関係者、木材流通事業者、地方公共団体、生産請負事業体等を招集して採材検討会を開催し、需要にマッチングさせて付加価値を高め市場へ供給するため、情報提供、意見交換を行っています。

広葉樹は、１本の木から優良材がとれる割合が10～20％程度と言われており、伐る人から使う人までが、目線を合わせて１本の木をどう伐ったらよいかを検討できる、非常に大切な機会となっています。



採材検討の様子

令和４年度からは、東北森林管理局独自に天然林・国有林高品質材（㊅㊐広葉樹）の規格を設け、全国各地で開催される優良材展示即売会に出品し、高い評価を受けています。

その他、これまであまり広葉樹を取り扱っていなかった市場にも広葉樹を出品し、地域での需要開拓、販路拡大に向けた取組を実施しています。



㊅㊐広葉樹市売り

また、貴重な広葉樹資源を可能な限り供給するため、森林整備等で伐採する人工林の中にある広葉樹を併せて伐ることにより、資源の有効利用に努めています。

こうした取組から、東北森林管理局管内の広葉樹材（社寺仏閣、文化財、住宅建材、家具、樽、楽器、伝統工芸品等の材料として利用が予想される材）の供給量は、徐々にではありますが増量してきています。

これからも、東北森林管理局では、国有林の貴重で優れた資源を有効活用し、林業の成長産業化に向けて木材利用の拡大に取り組んでまいります。



高値で落札された原木（ミズナラ）

使える！

行政情報&研究・技術の参考情報

森林・林業に関して役立つ行政の情報や研究技術情報を紹介しています。

白神山地周辺地域のニホンジカ生息状況について

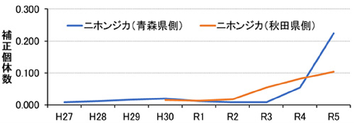
関係行政機関で組織する白神山地世界遺産地域連絡会議においては、大学・研究機関、その他の学識経験者等と連携して遺産地域のモニタリングを推進するとともに、その結果に応じて保全方法や利用方法の見直し等を行い、より効果的な手法により白神山地の適正な保全管理を行うこととしています。

東北森林管理局では、中・大型哺乳類の生息状況を把握するため、遺産地域の周辺地域において、平成27年度より自動撮影カメラによる調査を実施しています。本調査では、近年生息域が拡大し、森林生態系への影響が懸念されているニホンジカの生息状況把握も目的の一つとしています。

青森県側と秋田県側における補正個体数※の経年変化（下図参照）をみると、青森県側では、令和３年度までは顕著な増加はみられませんでしたが、令和４年度から増加し始め、令和５年度は大幅に増加（前年の４倍超）しました。

一方、秋田県側では、令和３年度以降から増加が続いてきています。

図　補正個体数の経年変化



※補正個体数：調査地点や月ごとにカメラの稼働日数が異なるため、10カメラナイト（CN＝カメラ1台を1晩撮影した場合を1CNと定義）当たりの延べ撮影個体数を算出し、日数の差異を補正した個体数。

東北森林管理局は、この情報を関係行政機関と共有し、各行政機関が遺産地域の周辺地域でのニホンジカの捕獲等を含め保全管理に努めています。今後も白神山地の貴重な自然を将来に伝えるため、継続してこれらの調査を実施していきます。

（青森県側）　（秋田県側）
モニタリング調査のQRコード

ご関心のある方は、計画課（TEL：018-836-2206）へお問合せ下さい。

シカ捕獲候補地の指標となるササ食痕

ニホンジカの増加に伴う農林業被害や生態系への悪影響を防止するためには、防護柵の設置や忌避物質の利用などによる被害の防除だけでなく、生息密度を抑制するためのシカの捕獲が必要です。シカとの遭遇機会が少ない状況では、いつ、どこで捕獲をするのが効率的でしょうか。多雪地では、周囲より雪が少なく過ごしやすい場所にシカが集まる傾向があります。また冬季には常緑のササの葉がシカにとって重要な餌になることが知られています。実際に、南向きで傾斜の緩い斜面に隠れ場所となるスギ林があると、その周囲や、近くの雪に埋もれることのない沢岸には、数メートル四方から数十メートル四方にわたって、ササの葉が一面にちぎられていることがあります。よく探すと、幅約１センチメートルほどの歯形が残る葉が見つかることもあります。これらの多くは、冬季にシカがササの葉を食べた痕跡です。食痕がシカによるものかどうかは、DNA検査薬であるニホンジカ・カモシカ識別キットを用いて確実に判定することができます。このようにシカが冬季に生息した痕跡のある場所には、翌年以降にも再び生息する可能性が大きく、捕獲を行う候補地となると考えられます。



シカの歯型が残るササの食痕

ご関心のある方は、森林総合研究所東北支所（TEL：019-641-2150）へお問合せ下さい。

地域のこの人

森林や林業の仕事の魅力とは?!
林業業界で働く人と国家公務員「森林官」や森林管理署等で働く人の紹介です。

未知なる広大な林業の世界

宮城

宮城県森林整備事業協同組合
有限会社　鎌田林業土木　鎌田　一輝さん

林業って木を伐る仕事だよね、斧とか使っているのかな、という程度の知識しかなかった私も、入社して４年目となりました。山と向き合う仕事は奥が深く、今でも勉強ばかりの毎日です。

山は人の支配下にありません。動植物や天候に地盤とコントロール不能な要素で満ちた場所です。季節の移ろいによって大きく変化する条件に適応し、木材の生産、次の世代に繋ぐ森林の植栽と地域環境保全に繋がる生育の森林整備を一つ一つ行っていく。それは正解というものが明確には無く単純作業にならない面白さがあります。

そして林業に従事することで、時間の余裕も生まれました。山中では日が沈んでからの作業は危険なため日没前には現場での作業を終了します。人それぞれの価値観もあると思いますが、短時間で集中して作業し、帰宅後に自分の時間があることは私にとって大きなメリットに感じています。

山の仕事には危険も伴い、怪我をすることもある肉体労働ですが、自然の中での仕事、時間に余裕がある生活と林業の魅力は多くあります。

林業は日常生活で目にすることがあまりないと思いますが、非常に刺激的で魅力のある仕事です。まずは一度見学などで実際に林業に触れて、広大な世界との縁を持つのはいかがでしょうか。



広大な自然と向き合う日々（左が筆者）

林業体験を通じて地域を支える森林づくり

岩手

三陸中部森林管理署高田森林事務所
森林官　澤田　俊さん

私の勤務する高田森林事務所は、かつて陸前高田市内にありましたが、東日本大震災で被災したため、今は大船渡市の三陸中部森林管理署の敷地内にあります。当事務所では、岩手県沿岸南部に位置する陸前高田市と大船渡市の約３千haの国有林を管轄しています。管内には、季節によってツツジ、シャクナゲなどの様々な種類の花々を楽しめ、登山やハイキングの場として広く利用されている三陸沿岸部で最高峰の五葉山があります。

三陸中部森林管理署では、大船渡市立末崎中学校と平成15年より遊々の森の協定を締結し、森林環境教育の場として国有林をフィールドとして提供しています。生徒たちが「森と海との関わり」を学習する場は産土（うぶすな）の森と名付けられ、植樹、下刈、間伐等の林業体験活動を20年間実施しています。今年度の活動は、中学生26名を対象に９月18日に事前学習、９月27日に林業体験を実施し私も講師として参加しました。森林から河川を通じ、山からの栄養分や有機物が海に供給され、名産品の三陸ワカメ等の資源が守られていること等を学習していただきました。



林業体験　枝打ちの説明

末崎中学校は来年度統廃合されるため、林業体験は最後となりましたが、主要産業である沿岸漁業を支えるため、今後も豊かな森林づくりを担う子供たちへの森林環境教育等を実施し、地域に貢献していきたいと思います。

東北森林管理局の管内で予定されている

イベント情報

12月中旬～1月上旬

青森県

12/1(日)～3/31(月) 津軽鉄道ストーブ列車

ダルマストーブで暖まりながら、地吹雪など雪国の景色を堪能

主催 津軽鉄道

12/13(金)～25(水) クリスマスマーケットinアスパム

イルミネーションやクラフト販売などが楽しめる

主催 青森県観光国際交流機構

12月下旬～1月下旬 ふかうらイルミネーションinアオーネ白神十二湖

10万個のイルミネーションで彩られた「光の遊歩道」を散策

主催 深浦町

岩手県

12/15(日) 二子鬼剣舞 創立70周年記念公演

創立70周年を記念した感謝の舞台。「往時の心七十路に舞う」

主催 二子鬼剣舞保存会

12/22(日) 冬の網張の森でクリスマス気分☆

新雪の森の中でスノーシューハイキングを楽しめる

主催 網張ビジターセンター

1/1(水) 元朝詣り

除夜の鐘と同時に初詣のための参拝者でにぎわう

主催 中尊寺・毛越寺

宮城県

12/1(金)～30(土) しばたファンタジーイルミネーション

船岡城址公園全体が光の花（イルミネーション）で包まれる

主催 柴田町観光物産協会

12/21(土)～3/9(日) 樹氷めぐりツアー

雄大な樹氷原を、最新鋭の雪上車に搭乗しながら鑑賞

主催 みやぎ蔵王すみかわスノーパーク

秋田県

12/21(土)～22(日) クリスマスマーケットin小坂2024

天使館周辺のイルミネーションとクリスマス関連の露店、冬花火

主催 小坂町

1/4(土)～2/24(月) 大森山動物園雪の動物園

土日祝日限定で雪の上を走り回る動物たちの姿を楽しめる

主催 秋田市大森山動物園

1/7(火)～3/5(水) 森吉山 ゴンドラで行く、日本三大樹氷鑑賞地

ゴンドラ山頂駅舎から徒歩5分で樹氷群を観賞することができる

主催 森吉山阿仁スキー場

山形県

12/14(土)～2/23(日) かんじき&スノーシュー体験ツアー

山形五名峰と米沢盆地の絶景を目指し、パウダースノーに足跡を

主催 楯天元台

12/28(土)～4/6(日) 雪山大冒険ツアー

山嶺を進む圧雪車からの展望やアニマルウオッチを楽しもう

主催 楯天元台

1/1(水) 初日の出スノーニューハイク

スノーシューを履いてやまがた百名山を登り、初日の出を拝む

主催 川西町観光協会

1/12(日) 大日如来わらしみこしまつり

長さ4ｍ重さ400kgの大わらじを担ぎ、町を練り歩く健康祈願行事

主催 たかはたをよう実行委員会、大日如来保存会

※掲載内容は、天候等により変更となることがありますので、主催者等にご確認下さい。
また、紙面の都合等で掲載できなかったイベントもありますので、ご了承下さい。

Topics

白神山地の新たなシンボルツリー「白神いざないツリー」に呼称決定！

津軽森林管理署

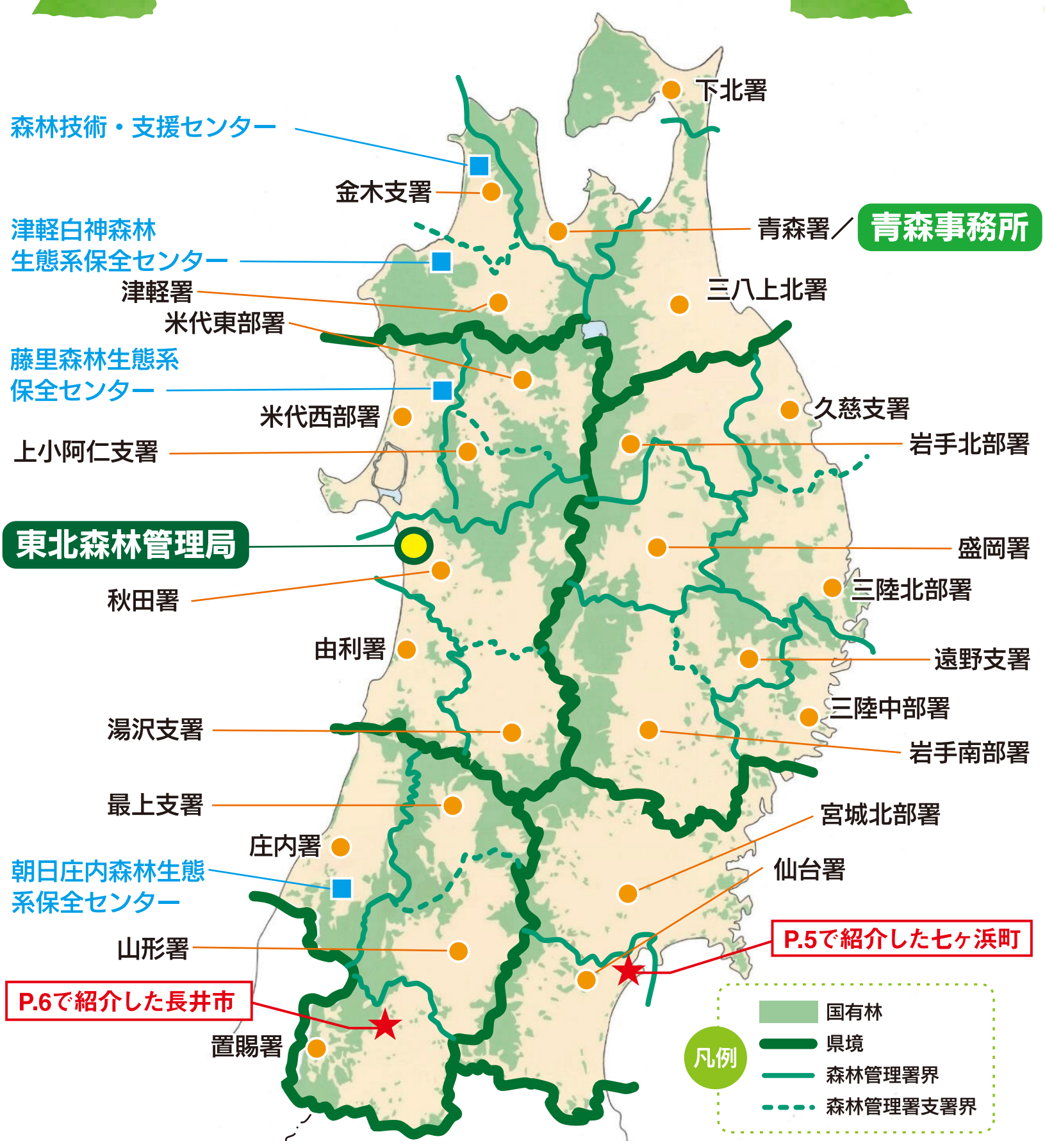
白神山地の象徴的な存在として皆様に親しまれてきたブナ巨木「マザーツリー」については、樹勢が衰え、枯死した旨今春お知らせしましたが、その後周辺一帯を調査し、樹勢が際立ったブナの巨木を後継のシンボルツリーとして選定のうえ広く呼称を募集しました。応募があった呼称をもとに当署と西目屋村で協議した結果、「白神いざないツリー」と決定し、10月に公表しました。



マザーツリー後継「白神いざないツリー」

広報誌「みどりの東北」スマートフォン対応版はこちら↓

東北森林管理局マップ



お問合せ先

青森県	青森事務所	青森市篠田三丁目22-16	☎017-781-2117
	津軽署	弘前市大字豊田二丁目2-4	☎0172-27-2800
	金木支署	五所川原市金木町芦野200-498	☎0173-53-3115
	青森署	青森市篠田三丁目22-16	☎017-781-0131
	下北署	むつ市金曲一丁目4-6	☎0175-22-1131
	三八上北署	十和田市西二番町1-27	☎0176-23-3551
	津軽白神センター	西津軽郡鰺ヶ沢町大字舞戸町字東阿部野70-82	☎0173-72-2931
	森林技術・支援センター	北津軽郡中泊町大字中里字亀山540-8	☎0173-57-9022
岩手県	岩手北部署	八幡平市荒屋新町41-8	☎0195-72-2221
	三陸北部署	宮古市磯鶏石崎4-6	☎0193-62-6448
	久慈支署	久慈市夏井町大崎14-12	☎0194-53-3391
	三陸中部署	大船渡市盛町字宇津野沢7-5	☎0192-26-2161
	盛岡署	盛岡市北山二丁目2-40	☎019-663-8001
	岩手南部署	奥州市水沢東上野町12-17	☎0197-24-2131
	遠野支署	遠野市東舘町7-39	☎0198-62-2670
宮城県	宮城北部署	大崎市古川東町5-32	☎0229-22-2074
	仙台署	仙台市青葉区東照宮一丁目15-1	☎022-273-1111
秋田県	米代東部署	大館市上代野字中岱3-23	☎0186-50-6130
	上小阿仁支署	北秋田郡上小阿仁村沖田面字野中376-13	☎0186-77-2422
	米代西部署	能代市御指南町3-45	☎0185-54-5511
	秋田署	秋田市河辺和田字和田156-3	☎018-882-2311
	湯沢支署	湯沢市田町二丁目6-38	☎0183-73-2164
	由利署	由利本荘市水林439	☎0184-22-1076
	藤里センター	山本郡藤里町藤琴字大関添24-3	☎0185-79-1003
山形県	庄内署	鶴岡市末広町23-37	☎0235-22-3331
	山形署	寒河江市元町一丁目17-2	☎0237-86-3161
	最上支署	最上郡真室川町大字新町字下荒川200-11	☎0233-62-2122
	置賜署	西置賜郡小国町大字岩井沢581-45	☎0238-62-2246
	朝日庄内センター	鶴岡市下名川字落合3	☎0235-58-1730

東北森林管理局

〒010-8550　秋田県秋田市中通 5-9-16　☎018-836-2014

みどりの東北 Midori no Tohoku

No.249　●発行日／令和 6 年 12 月　●発行／東北森林管理局

●東北森林管理局ホームページもぜひご覧ください
https://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/